

公民館・集会施設に 正座椅子の設置を求める



清水がく (自民党・信頼) 令和3年第1回定例会

市長 利用者が利用しやすい施設となるよう対応を検討する。
①令和3年第1回定例会
②防災行政無線の活用方法について。今ある手段を最大限活用し、例えば、日替わりで話し手を変えるなど、多くの方に注目してもらうことが必要である。本市においても市長自らの声で防災行政無線を通して市民にお知らせをしたらどうか。特に費用もかからず、やるに決まればすぐできる取組と考える。
部長 提案があった正座椅子設置については今後検討する。

子どもの居場所 生理用品を無料配布せよ



水谷たかこ (こがおも)

①今年度、学童保育の在籍率は45・4%と高くなっている。子どもの居場所は地域全体で考えるべき。
②近隣市で、生理用品等の無料配布事業を行っている。(ア)困っている、毎月保健室でもらうのは気が引ける子どももいる。トイレの個室で、子どもたちが気軽に受け取れるようにしないか。(イ)市長の考えは、保健室での配布に加え、応急的に拡充して、近くのトイレ個室に備える。
市長 (イ)寄り添っていけるように努力したい。

パートナーシップ制度 自治体連携の周知を



坂井えつ子 (緑・つながる)

①パートナーシップ宣誓制度を導入する都内の自治体がネットワークを立ち上げた。参加している本市でも周知を。
課長 都内16自治体が参加している。連携自治体の状況を確認し、検討したい。
②(ア)都市計画マスタープラン中間報告(案)のパブリックコメントを分析した。優先整備2路線に関する意見の約5%が賛成、約95%が反対であった。担当部局の分析は、(イ)意見に対する検討結果の「必要な修正を行ってまいります」について、説明を求める。(ウ)市長が東京都に宛てた要望書で

自閉症・発達障害者・ 障害児支援の充実を



渡辺ふき子 (公明党)

小中学校の特別支援教育については、子どもの特性を伸ばし、将来の自立に向けた成長の可能性を広げる環境が必要である。(ア)現状について問う。(イ)小学校にも、他市で設置が進んでいる情緒障害固定学級の設置をしないか。(ウ)特別支援学校を卒業後の就業先の不足について問う。(エ)生涯安心して地域で生活できる施策の推進が必要では。
部長 (ア)各学校では特別支援教室の制度が浸透し、円滑な運営が図られている。気になる児童生徒については、巡回指導教員や臨床発達心理士が行動観察を行っ

外国籍児童・生徒への 日本語教育を充実させよ



宮下 誠 (公明党)

令和元年、日本語教育の推進に関する法律が施行された。平成30年に国が行った調査では、日本語指導が必要な児童・生徒数は過去2年間で16・3%増加している。また、市内の外国人は過去5年間で82人増加している。日本で暮らす外国籍の子どもへの日本語教育は、今や看過できない重要な課題になっている。(ア)市立小・中学校における外国籍の児童・生徒は何人か。(イ)1名しかいない日本語指導補助員を増やさないか。(ウ)文化的背景を理解する母語支援員を配置すべきでは。(エ)高校への進路指導等は対応できているか。(オ)双方方向通訳デバイスを導入しては。
部長 (ア)小学校では75人、中学校では23人、計98人である。(イ)保護者及び学校から支援要請が増える場合には、日本語指導補助員の増員も考える必要がある。(ウ)母語支援については、地域の国際交流に取り組むボランティア団体と連携していく。(エ)進路指導は、スクールソーシャルワーカーがサポートに入り、都立高校の外国籍生徒を対象とした入学説明会を案内するなど、支援の充実を図っている。(オ)研究していきたいと考えている。
■その他、資源循環社会の実現に向けて提案しました。

存続危機にある中学校 部活動の対策を急げ



岸田正義 (みらい)

スポーツ庁がもはや持続可能な状態であるとは言えないと警鐘を鳴らす中学校部活動は、存続の危機に瀕している。人事異動が避けられない教員に依存した部活動は、常に不安定だからこそ、部活動改革が始まっている。大きな役割を担うのが、部活動指導員である。(ア)配置手続は、(イ)確保方策は、(ウ)報酬単価は、近隣5市平均が千720円なのに対し、千190円と極めて低く、見直しが必要ではないか。(エ)人材確保は、教育委員会が募集、面接、研修を行い登録する「部活動人材バンク」を創り、生徒とのマッチン

CoCoバス再編事業 について



寺内だい作 (日本共産党)

(ア)貫井前原循環について、維持を求める声が多くある。なぜ変更が必要か。また、貫井南町、前原町の市民へ向けて、懇談会ではなく、説明会を開くべき。(イ)CoCoバスは民間バスとは違い、利益を上げることが目的ではなく、高齢者の足の確保が目的であり、福祉の要素が大きい事業である。新型コロナウイルス感染症により経済状況が見通せず、国民の生活が苦しさを増していく中での、運賃の値上げはやめるべき。
部長 (ア)貫井前原循環運行ルートについては、道路幅員が狭く、徐行運行や車両の擦れ違い時における安全上の課題があり、遅延の要因となっている。また、京王バス西之久保循環においては、廃線を考慮しなければならぬほど、路線の存続が厳しいという課題を抱えている。地域公共交通会議での検討結果を受けて、総合的に検討したところである。説明会については、コロナ禍の現況においては難しいが、丁寧に進めていく。(イ)CoCoバスと路線バスの運賃格差による競争地域間における公平性が大きな課題である。運賃については、総合的に検討した結果の運賃体系である。

駅前喫煙トレーラー ハウスの設置を



遠藤百合子 (自民党・信頼)

①タバコの分煙をして、タバコの吸い殻、ポイ捨てをなくし、健康面で吸わない方々の権利を守るための取組について。(ア)ポイ捨てタバコのない街を目指す観点での考えは、(イ)約5億円のたばこ税収入があることを考えると、タバコを吸う方々のことも考えていただきたい。喫煙スペースとしてトレーラーハウスの設置を検討しないか。
部長 (ア)路上禁煙地区での喫煙及びタバコのポイ捨てをなくしていくため、更なる周知の徹底や、路上清掃に努める。(イ)三鷹市や武蔵野市が設置しており、設